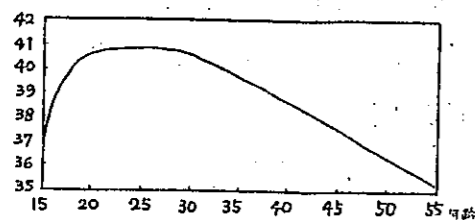
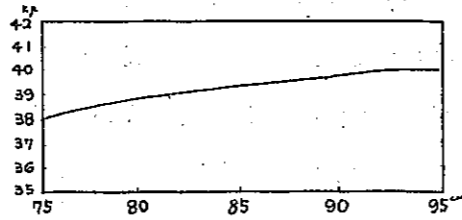


第51圖 年齢別肺活量對胸圍係數



第52圖 胸圍別肺活量對胸圍係數

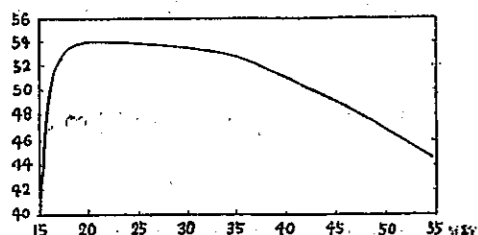


c. 握力對胸圍係數 = $\frac{\text{握力(kg)}}{\text{胸圍(cm)}} \times 100$

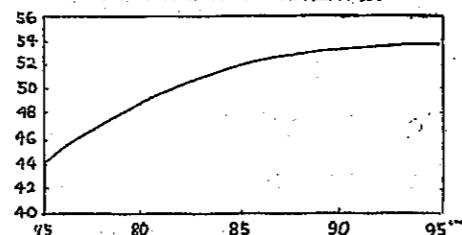
年齢の増すと共に17年頃迄著しく増加し、20年で最高となりて以後は減少し、35年を過ぎると其の數が大いに加はる。而して、成人期に於ては54.0—51.0である。(第53圖)

胸圍の増大するに従つて増加する。而して、M干のに於ては50.0—53.0である。(第54圖)

第53圖 年齢別握力對胸圍係數



第54圖 胸圍別握力對胸圍係數

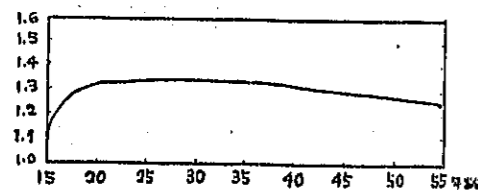


[4] 握力の肺活量に對する關係數 = $\frac{\text{握力(kg)}}{\text{肺活量(c.cm)}} \times 100$

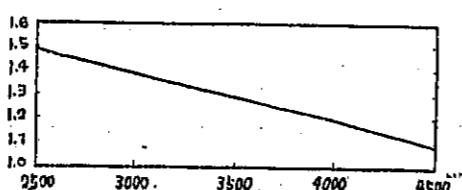
年齢の増すと共に17年頃迄著しく増加し、20年で定まり以後35年迄殆んど變化を認めず、35年を超えると反對に僅かづゝ減少する。而して、成人期に於ては1.35—1.33である(第55圖)

肺活量の増加に伴ひて遞減して居る。而して、M干のに於ては1.45—1.20である(第56圖)

第55圖 年齢別握力對肺活量係數



第56圖 肺活量別握力對肺活量係數



第二節 他の研究との比較

以上の如く、體力測定結果の統計的觀察を遂げたる我鑛山勞働者は、他の階級の人々と較べて如何なる地位に在りやを知ることは、最も重要且つ興味あることである。然るに、年齢其他に於て本調査の諸條件に一致する比較すべき資料は、遺憾ながら高峰博氏の研究の外は見當らず、身長、體重、胸圍の三項目については、其の發表の時が稍古いが、大山稻三郎氏、印東氏の研究があるに過ぎない。今、此處に、僅かに得たる此の三研究者のものと我日立の勞働者とを比較して見ることにした。

高峰氏のは、大正9年以降昭和4年に至る10ヶ年間に於ける東京市電氣局の應募者で、年齢の範圍は本書と同一であり、被檢者數は滿15年以上40年迄のものが12,293人と云ふ多數に上つて居る。

大山氏のは、福壽生命保險の被保險者でしかも健康者である。而して可成り廣範圍の社會階級に亘り、調査人員も相當に上り、大正15年の發表である。

印東氏のは、検査人員20,000人とあるが、被檢者の社會的階級等は判明しない。これは大正2年の發表である。

(1) 高峰氏との比較

第19表 各體力の成熟に關する年齢の比較

項目	發育狀態	成熟期に近づきたる年齢		成熟期に入りたる年齢		成熟の最頂期		退行現象の現れ始めた年齢	
		高峰	日立	高峰	日立	高峰	日立	高峰	日立
身長		17	16	22	17	26-27	19-20	36	28
體重		18	19	21	21	22-23	24	34	33
胸圍		19	20	22	22	31-32	30	39	51
胸差		17	16	22	18	22	24	30	32
肺活量		17	18	22	20	27	26-27	35	35
握力		19	18	22	19	24-28	25-26	35	36

我日立の勞働者の身體の成熟に關する年齢は、高峰氏の研究に倣ひ、34頁第66圖の體力變化指數曲線を基として考察し、その

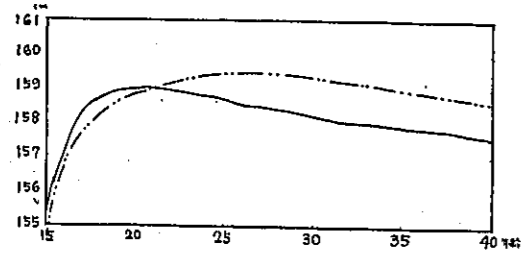
結果を同氏のと比較したものが第19表である。

各體力の比較

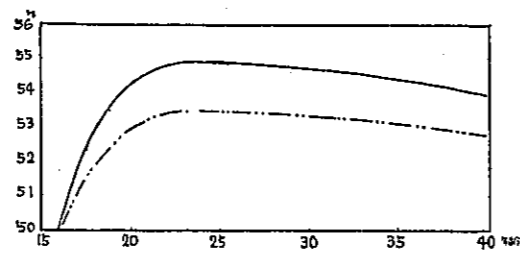
高峰氏 - - - - -

日立 - - - - -

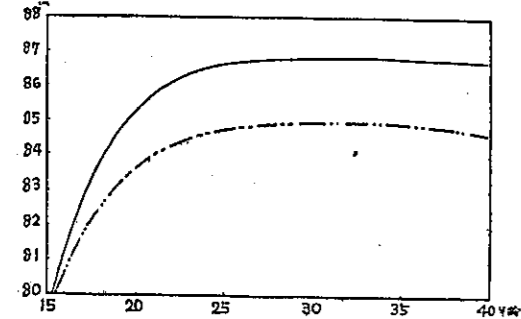
第57圖 年齢別平均身長曲線



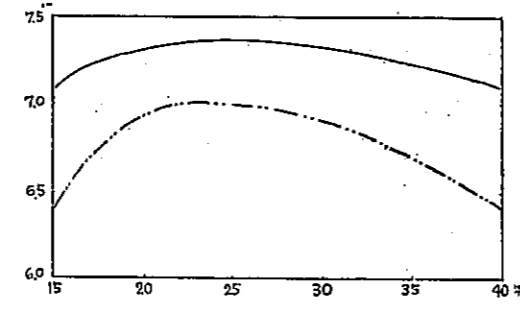
第58圖 年齢別平均體重曲線



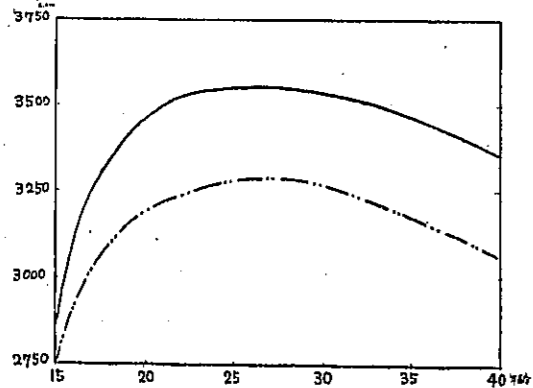
第59圖 年齢別平均胸圍曲線



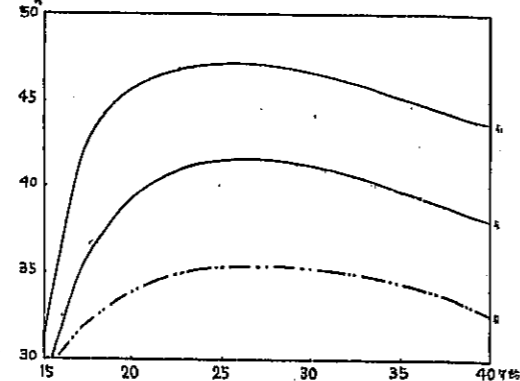
第60圖 年齢別平均胸差曲線



第61圖 年齢別平均肺活量曲線



第62圖 年齢別平均握力曲線



以上の第19表並に各體力の比較曲線に依つて、我日立は大體に於て高峰氏の研究結果と同様の傾向を辿りつゝ變化して居るを知る。但し、身長 of 退行期の幾分早いのに較べて胸圍の退行期の著しく遅きは注目に値する。

而して、我日立の勞働者は、身體の均衡の如何は別として、身長は高峰氏より劣るも、其他の體重、胸圍、胸差、肺活量、握力は何れも優秀にして、殊に握力に於て高峰氏のは、我日立の勞働者の左手の平均握力にも及ばない。この現象は、高峰氏の被檢者の多くは都市生活者なるが故に、かくの如き結果になるのであると思はれる。

(2) 大山、印東兩氏との比較 發育完成の概況は、身長 of 成熟期に入るは何れも20年前で、其の最頂に達するは日立は20年代、大山氏は30年代、印東氏は35年代である。(第63圖)

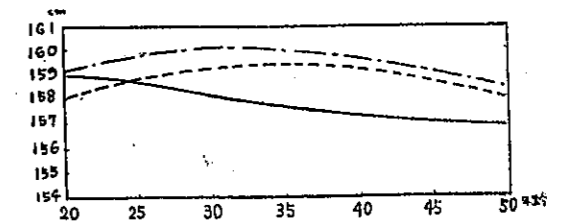
體重 of 成熟期に入るは何れも20年代で、其の最頂に達するは日立は24年、大山氏は35年、印東氏は40年となり、日立はその退行期が大山、印東兩氏に較べて著しく早い。(第64圖)

胸圍 of 成熟期に入るは何れも20年頃で、其の最頂に達するは日立は30年代、大山、印東兩氏は共に40年代である。(第65圖)

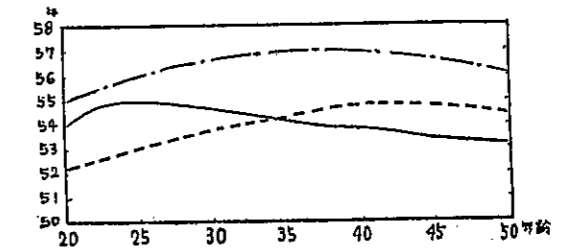
而して、日立は、大山、印東兩氏より身長は低く、體重は大山氏より軽く、印東氏より35年代迄は重く以後は軽く、胸圍は印東氏より廣く、大山氏と略同じである。

第63圖 年齢別平均身長曲線

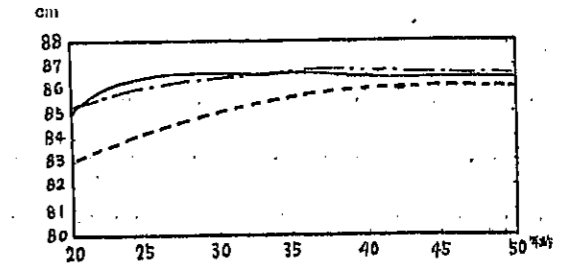
- - - - - 大山氏 - - - - - 印東氏 - - - - - 日立



第64圖 年齢別平均體重曲線



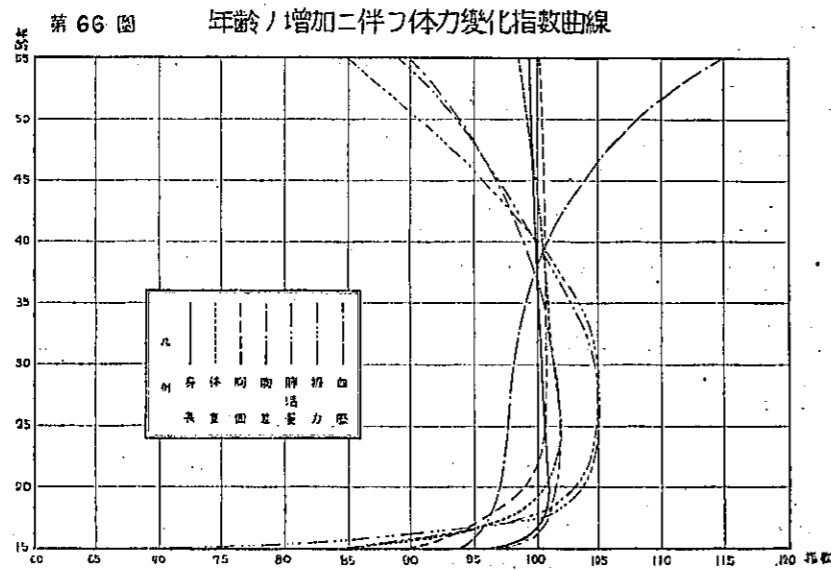
第65圖 年齢別平均胸圍曲線



以上に依れば、我日立の労働者は三者のものより身長は低く、胸圍は廣く、體重は三者の中間に在るを知る。

第三節 綜合的考察

第66圖の體力變化指數曲線は、正常の成人を基準として算出すべきであるが、疾病並に體力の兩方面より觀察して、その正常と異常とを判別すること困難なりしに依り、假りに、各體力の全體の平均を以て指數の基準として算出したものである。

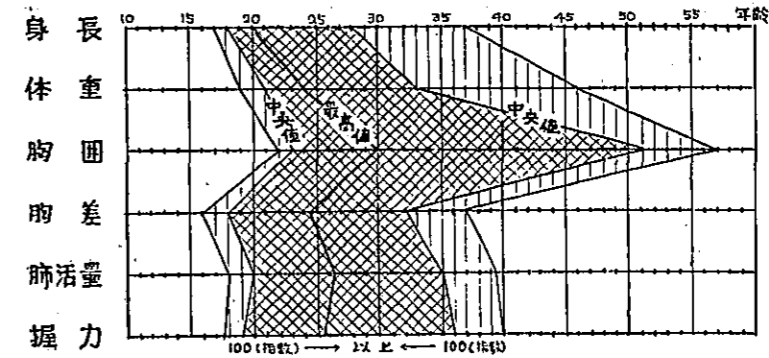


此の變化指數曲線を説明し利用する一つの便法として、第61圖労働能力曲線を描いて見た。

それは、上記の變化曲線より各體力指數 100 以上に亘る年齢の範圍を求むるときは、下記曲線の外廓の線がそれに當る。

而して、各體力の最高値たる年齢に相當する指數と、外廓線である上限下限の指數(100)の間を、夫々等分した際に於ける指數——即ち中央値に相當する指數——の年齢とを見出した。

第67圖 労働能力曲線 (血脈ハ程々)



斯くして見出された處の、各體力の中央値間の年齢に相當する時期が、最も労働能力の旺盛なる時代であると假定することを得るであらう。

以上の如き過程を経て之れを見るときは、

身長	18年—28年	胸差	18年—32年
體重	21年—33年	肺活量	20年—35年
胸圍	23年—51年	握力	19年—36年

となり、各體力の最盛時は大體に於て知ることが出来る。尤も體力の評価には以上の外、坐高、脊筋力等を加ふべきであるが、暫く此の六項目のみを綜合して考察するときは、技能、經驗等に對する條件は別問題として、體力の上から見て、21年より35年に至る15年間位が、労働者として最も活動力に富める時期なりと謂ふことを得べきである。

第五章 結 論

以上に依つて、我日立鑛山に於ける労働者の身體の全貌は不完全ながら窺ひ知る事が出来ると思ふ。今後の問題は、新に雇入るべき労働者は如何なる條件を備へたる者たるべきかと云ふこと、それか

ら如何なる身體を有する者を如何なる作業に従事せしむべきかと云ふこと、もう一つは叙上の如き身體を有する労働者を如何にしてより良き健康状態に導くべきかと云ふこと、此の三つを明かにすることが本研究の重要題目となるのである。

然れども、今、此處に、此の課せられたる三大問題に就て詳論するの餘裕を有たないから、既に實行せられつゝあるもの、或は近き將來に於て研究實施せらるべきもの、及び、其の影響する處を、簡単に各方面より指摘して見たいと思ふ。

(1) 事業に對して

- イ、優良體質者の雇入を爲すことを得ること。
- ロ、作業毎に如何なる身體的條件を必要とするやと云ふこと、即ち適性を決定する的確なる資料となる。
- ハ、休業者の減少に伴つて餘剰労働者の雇入れ必要なため間接費を減少することを得。
- ニ、上記三點の外に一般の健康状態良好となるが故に、能率の増進著しく、事業を繁榮に導くこと。

(2) 健康保険組合に對して

- イ、衛生思想の普及發達を促すこと。
- ロ、健康保険の目的たる疾病の早期治療を爲すことを得ること。
- ハ、罹病率の低下すること。
- ニ、以上の諸點より當然保險經濟の安定することは絮説を俟たない。

(3) 労働者に對して

- イ、強健なる身體を有し、自己の身體に適合せる作業に従事することとなるが故に、愉快に満足して労働生活を爲すことを得せしむること。

ロ、一家の大黒柱たる主人が上記の如くなるにすれば、家庭生活の幸福は期せずして來る。

(4) 醫學上より見れば

- イ、體力の不均整より推して、潜伏的疾患の發見を容易ならしむること。
- ロ、職業病の發見に有力なる機會を與へること。
- ハ、身體の諸相明かとなり、且つ第二節に記せる健康診断カードの裏面には、健康診断後の傷病を記入しあるを以て、それを利用することを得るから、醫師の診断と治療とを徹底せしむることとなる。
- ニ、上記の如くであるから、醫學殊に豫防醫學を進歩せしむることは必然である。

(5) 國家社會に對して

- イ、産業の發展を來すことは當然で、本研究の第一目的である。
- ロ、労働生活が愉快なものとなれば思想の悪化は自然に防げる。故に思想善導の基礎工作であるとも言ひ得るのである。
- ハ、労働生活が充實すれば、従つて其の報酬も増大し、身體的に物質的に餘裕を生じ、其の當然の歸結として、文化の向上を見るべきは明かである。
- ニ、産業の發展、思想の穩健、文化の向上は、國力の充實を招來することは火を賭るよりも瞭かである。

此の如き重要性に富める労働者身體の検討、一日遅ければそれだけ各方面に重大なる損失を來すことを忘れてはならぬのである。

終りに、この研究の着手に方り、御懇篤なる御指導を賜はりし醫學士高峰博氏、並に、本研究に對し色々と御援助を蒙りし、日本鑛業株式會社専務取締役今井喜代志氏、日立鑛山事務所長工學博士鈴

木富治氏、同副所長福田重清氏、同庶務係長渡邊昇吾氏、同醫院長醫學士秦資彰氏、同副醫院長醫學士濱田繁氏及び醫員各位、其他多數の方々に深甚なる敬意と謝意とを表すると同時に、余の助手として終始懸命の努力を拂つて呉れた半揚由雄君に對し心から其の勞を感謝して、本稿を結ぶこととする。

(附 録)

日立鑛山労働者身體の諸相

日立鑛山 坂 田 進

鑛山労働者身體の諸相

第一章 健康診断實施の方法

(イ) 健康診断實施の準備

實施に先ち關係各方面に、下記の如き印刷物を配布して、其の趣旨を徹底せしむるに努めた。

健康診断實施の概要

I 目的

強健なる身體は、筋肉労働者たるの絶對的條件である。労働者は是れに依つて、自己及家族の幸福を招來し、雇主は是れに依つて、其の事業能率の向上を圖ることを得るのである。

此の至重至要なる條件の、保持増進を企つる意味より、健康診断を實施せんとするのであるが、今此の目的を分析すれば、

1. 新採用の際に實施して、健全なる體軀を有する労働者の使用に努むること。
2. 現在使用労働者に實施し、其の疾病を早期に發見して、健

康の回復に努むること。

の二つになるのである。

此の目的の遂行が齎す結果は、當鑛山全體の福利を増進するものなることを思へば、其の忽緒に付すべからざる喫緊事たるを痛感せしむるのである。

II 診断の内容及書類

健康診断の内容は、別葉カード記載の如くであつて、身體の全部に亘り、可及的精確に診断するのであるが、書類は左の二種に分れる。

健康診断書(庶務係人事に保管す)、健康診断カード(健康保険組合及病院に於て各一枚宛保

管す)

Ⅲ 書類の取扱

書類は左の経路を辿りて処理することゝなる。

A. 健康診断書

各係⁰⇄庶務¹⇄組合²⇄病院³

1. 矢の方向により、且つ矢の側の数字の順に循環処理するものとす。

2. 庶務係人事方に於て、健康診断を求めんとするときは、本山、大雄院を區別するゴム印を押捺すると同時に、人No.坑内外、男女の別、職名〔()内は係名の頭字のゴム印を押捺すること。〕氏名、出生年月日、數へ年、雇入年月日、主なる業歴、既往の著患の各項を記入して、之を組合に送ること。

3. 組合に於ては、右の書類に被No.を記入すると同時に、前記の人事方記入事項を、健康診断カードに記入し終りたる後、健康診断書を病院に廻付すること。

4. 病院に於て、該書類を受理したるときは、健康診断を爲し、病院備付の健康診断カードに記入の上、更に各該當事項を、健康診断書に記入して、之を組合に送ること。

5. 健康診断書を送られたる組合に於ては、各該當事項を、健康診断カードに記入を了して後、庶務係人事方に廻付すること。

6. 庶務係人員方に於ては、健康診断書の送付を受けたる上、新採用の場合には、採否を決定したる後、其の者の屬する係に送付することゝするも、現に使用中の者なる場合には、特に必要な時の外、各係に送付するに及ばざるものとす。

7. 各係に於て、庶務係人事方より、健康診断書の送付を受けたるときは、一覽したる上、可成早く庶務係人事方へ返送すること。

8. 庶務係人事方に於ては、返送を受けたる健康診断書を前記第六項記載の送付を要せざる健康診断書と共に之を保管するものとす。

B. 健康診断カード

前記3.4.5.に依り、各事項の記載を終りたるカードは病院及び組合に於て各之を保管し置き、健康診断実施以後の傷病に関する事項を、病歴欄に記入し、健康診断の結果と照合して、其の者の健康状態の推移に注意するの資料と爲すものとす。

Ⅳ 実施の方法

健康診断は少くとも毎年一回、最短期間を限りて、之れを実施するを以て理想とするも、直接実施の衝に當るべき醫員の手不足並びに、事業能率及び健康保険の給付に及ぼす影響等の問題に想及するときは、短期間内の実施は暫く猶豫するを可なりと思惟せらるゝを以て、不本意乍ら今回は、特に左記に依つて實

施し、其の結果に鑑みて、第二回以後の実施方法を決定する所存なのである。

a. 時期 昭和四年一月より

b. 順序

1. 第一に新採用者には、其の採否決定前必ず之れを行ふこと。
2. 次ぎに現在休業の患者に就き行ふこと。
3. 第三には出療患者に行ふこと。
4. 大體前記の者を終りたる頃を見計ひ健康者に及ぼすこと。

c. 方法

1. 本山、大雄院を通じて、一日十五名位とすること。但し実施後の状況により施行人員を増すこと。
2. 醫員は居残せざる程度に実施すること。
3. 実施後一年以内に終了する見込なるも、可成早く終了するやう努むること。

Ⅴ 診断の利用

健康診断の結果は、冒頭に説ける目的を達せんが爲め、各種の方面に利用せらるゝのであるが、其の大綱を擧ぐれば、左の如くである。

1. 従來の體格検査に代えて、採否決定の有力なる資料となる。
2. 各現場及び庶務係に於て、勞働者使用上の便益に供することを得。

3. 醫師に於て、日常罹病者診断の際、及び次回健康診断の場合に於ける絶好の参考資料となる。

4. 健康状態に關する諸統計を製作する、適確の資料となり、勞働者の健康の保持増進に關する施設を促進せしむるの、權威ある材料となる。

終り

(ロ) 實施の範圍

前項の如き方法に依りて、施行したのであるが、其の後を顧みる時は、

1. 調査期間 自昭和4年1月5日至昭和4年12月25日 356日間
2. 調査範圍 日立鑛山及諏訪鑛山
3. 調査人員 3,423人

實際施行人員は下表の如く3,723人で、それより300人不足なのは、本編の資料となせるは昭和4年12月末現在の人員を以てした爲めで、新採用の際不合格となりたる者及び検査後に至り解雇となりたる者を除いたに因るのである。

各月に於ける健康診断施行日數及人員

施行日數及人員 醫院別	月 次												計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
本山醫院	施行日數	17	25	24	24	25	26	25	25	27	24	26	10	2.78
	人	104	258	214	209	165	198	145	125	207	230	196	19	2,070
大雄院醫院	施行日數	16	28	26	29	15	25	27	29	27	15	9	12	258
	人	107	200	281	249	78	196	193	141	136	41	15	16	1,653
計	施行日數	19	28	26	29	26	28	27	29	29	27	26	16	310
	人	211	458	495	458	243	394	338	266	343	271	211	35	3,723

以上に依り一日當り施行人員を求むるときは、本山醫院に於ては7.45人、大雄院醫院に於ては6.41人、平均12.01人となるのである。

(ハ) 検査者

日立鑛山事務所の經營に係る日立鑛山醫院(本山、大雄院の二箇所)に於て、上表の日數を費し、内科醫主任となり、外科、眼科、耳鼻咽喉科、齒科、婦人科の醫師(15名)各専門とする處を分擔し検査に當り、體力測定に際しては、看護婦を助手として之を施行したのである。

(ニ) 整理の大要

健康診断の全項目に亘つて之を整理し、基礎的事項である體性、年齢、坑内外、等の各項目及び各検査項目相互間の關係等を有する方面より觀察したのであるが、中には其の結果より見て妥當ならざるものは、折角整理したものを、暗より闇へ葬りたるものもあつたのである。即ち健康診断カードに在りて本書に無きものは之に該當するのである。

診No. _____ 被No.() _____
 職名() _____ 氏名 _____ 年 月 日生 _____ 人No. _____

検査事項	検査の時 生活年齢	昭和年月日		昭和年月日		昭和年月日		昭和年月日		昭和年月日			
		年	月	年	月	年	月	年	月	年	月		
体温	温												
脈搏	搏												
呼吸	吸												
血 壓	(最大最小)	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm		
身 長	長	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm		
體 重	重	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg		
胸 圍	差	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm		
肺 活 量	量	e.cm	e.cm	e.cm	e.cm	e.cm	e.cm	e.cm	e.cm	e.cm	e.cm		
握 力	力	右 kg	左 kg	右 kg	左 kg	右 kg	左 kg	右 kg	左 kg	右 kg	左 kg		
脊 柱	柱	正	變	正	變	正	變	正	變	正	變		
榮 養	養	良	中	不	良	中	不	良	中	不	良	中	不
概 評	評	甲	乙	丙	甲	乙	丙	甲	乙	丙	甲	乙	丙
眼	視 力	右	左										
	色 視	神											
	眼 球 震 盪	症											
	ト ラ ホ ー ム	ム											
耳	聽 力	右	左										
	耳 疾	疾											
鼻	鼻 疾	疾											
	鼻 齶	齶											
口 腔	其 他	他											
	呼 吸 器	器											
呼 吸 器	器 病	病											
	消 化 器	器											
全 身	身 病	病											
	神 經 系	系											
骨 節	骨 節 病	病											
	其 他	他											
糞	十二指腸	東洋毛	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	蛔 虫	鞭 虫	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
尿	其 他	他	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	尿 糖	糖	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	

第二章 基礎的觀察

第一節 調査人員

(1) 體性別に依る調査人員

人 員	體 性 別	男	女	計
實 數		3,074	349	3,423
割 合 %		89.80	10.20	100.00

(2) 係別に依る調査人員

人 員	係 別	探 鑛	買 鑛	製 鋼	電 鍊	工 作	研 究	調 度	庶 務	會 計	醫 院	林 業	販 助	計
實 數		1,493	49	462	128	423	74	341	118	34	109	52	140	3,423
割 合 (%)		43.62	1.43	13.50	3.74	12.36	2.16	9.96	3.45	0.99	3.18	1.52	4.09	100.00

鑛山に於ける職務の分擔より見るに、以上の如き割合となるのであるが、之を大分類するときは、探鑛並に選鑛に従事するもの 49.14%、製鋼に従事するもの 17.24% で、即ち直接生産に従事するもの 66.38% となり、他は間接従業者にして 33.62% となるのである。

(3) 坑内外別に依る調査人員

人 員	坑 内 外 別	坑 内	坑 外	計
實 數		996	2,427	3,423
割 合 %		29.10	70.90	100.00

(4) 居住地別に依る調査人員

人 員	居 住 地 別	目 立 鑛 山		販 助 鑛 山	計
		本 山	大 雄 院		
實 數		1,809	1,474	140	3,423
割 合 %		52.85	43.06	4.09	100.00

本山及び販助鑛山は主として探鑛場にして、大雄院は製鋼場である。而して、鑛山事務所と製鋼場の所在地である大雄院は常磐線助川驛を距ること西北里餘の溪谷中廣潤なる地に在り、これらの作業に従事する者は宮川に沿ふて助川へ走る通路の左右に數ヶ所の部落をなす。本山の探鑛場は大雄院より峰嶺重疊たる山間に狭まる坂路を蛇行すること一里許りの地に在りて神峰高鈴の二峰に據する溪谷に沿ふて設けられたる住宅は、連山を城壁とし、三ヶ所山の部落に別れて居る。販助鑛山は大雄院より西南二里餘りを隔る山間狭隘の地に在る一小部落である。

第二節 年 齡

(1) 年 齡 の 概 観

性 別	年 齡		平 均	
	最 大	最 小	平	均
男	年月 61.2	年月 14.4	年月 33.5	} 32.6
女	56.9	12.10	23.11	

(2) 居住地別坑内外別體性別に依る平均年齢

坑内外別	性 別	日 立 鏡 山		諏 訪 鏡 山	平 均
		本 山	大 雄 院		
坑 内	男	年月 34.1	年月 —	年月 28.8	年月 33.7
	女	31.00	34.11	23.6	33.5
坑 外	男	22.7	25.8	25.11	23.11
	女	29.2	34.1	24.6	32.1
平 均	男	32.9	34.11	27.7	33.5
	女	22.7	25.8	25.11	23.11
平 均		31.8	34.1	27.4	32.6

(3) 係別、體性別に依る年齢階級別人員及平均年齢

年 齡 階 級 別	係 別		採 鏡		買 鏡		製 銅		電 鍊		工 作		研 究		調 度	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
10—15	17	9	1	—	1	—	2	—	5	3	2	—	2	—	—	—
15—20	131	66	2	—	11	—	15	—	37	9	32	—	12	—	—	—
20—25	169	32	3	—	32	—	8	2	35	1	7	—	22	1	—	—
25—30	223	20	9	—	50	2	19	—	50	1	7	—	53	1	—	—
30—35	245	7	8	—	86	—	15	3	73	—	8	—	52	3	—	—
35—40	245	5	13	—	140	3	21	3	95	—	5	—	73	4	—	—
40—45	185	5	8	—	102	—	25	1	78	—	7	1	72	1	—	—
45—50	94	5	4	1	28	—	7	—	34	—	5	—	27	4	—	—
50—55	34	—	—	—	7	—	7	—	1	1	—	—	14	—	—	—
55—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,344	149	48	1	457	5	119	9	408	15	73	1	327	14	—	—
平均年齢	32.7	22.10	34.2	47.2	35.10	34.5	33.10	32.11	33.9	19.6	26.4	40.0	35.9	37.5	—	—
平 均		31.7	34.6	35.9	33.9	33.3	26.6	35.10	—	—	—	—	—	—	—	—

係別、體性別に依る年齢階級別人員及平均年齢 (續)

年 齡 階 級 別	係 別		庶 務		會 計		醫 院		林 業		諏 訪		計		百 分 比			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女	計
10—15	1	1	—	—	—	7	—	—	—	—	1	—	32	20	1.04	5.73	1.52	
15—20	5	2	4	23	4	52	1	1	21	5	275	158	8.95	45.28	12.65	—	—	—
20—25	9	2	—	4	—	14	4	1	28	6	317	63	10.31	18.05	11.10	—	—	—
25—30	12	1	—	—	5	2	7	2	27	2	462	31	15.03	8.88	14.40	—	—	—
30—35	18	2	—	—	2	1	7	1	21	3	535	20	17.40	5.73	16.22	—	—	—
35—40	20	—	—	—	3	4	7	—	12	4	634	23	20.63	6.59	19.19	—	—	—
40—45	10	—	2	—	4	2	12	1	9	—	514	11	16.72	3.15	15.34	—	—	—
45—50	15	1	1	—	—	6	6	—	—	—	221	17	7.19	4.87	6.95	—	—	—
50—55	14	2	—	—	—	2	2	—	1	—	80	5	2.60	1.43	2.48	—	—	—
55—	3	—	—	—	—	1	—	—	—	—	4	1	0.13	0.29	0.15	—	—	—
計	107	11	7	27	18	91	46	6	120	20	3,074	349	100.00	100.00	100.00	—	—	—
平均年齢	37.4	29.8	27.8	17.10	25.7	23.0	36.8	28.4	27.7	25.11	33.5	23.11	—	—	—	—	—	—
平 均		36.8	19.10	23.5	35.9	27.4	32.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第三節 勤 績

(1) 居住地別坑内外別體性別に依る平均勤績年數

坑内外別	性 別	日 立 鏡 山		諏 訪 鏡 山	平 均
		本 山	大 雄 院		
坑 内	男	年月 6.8	年月 —	年月 3.11	年月 6.5
	女	6.3	8.7	3.10	7.8
坑 外	男	3.1	4.4	1.7	3.6
	女	5.7	8.2	2.10	7.1
平 均	男	6.6	8.7	3.11	7.4
	女	3.1	4.4	1.7	3.6
平 均		6.1	8.2	3.7	6.11

(2) 係別に依る勤績年数別人員及平均勤績年数

勤績年数別	係別	採鑛	買鑛	製銅	電鍊	工作	研究	調度	庶務	會計	醫院	林業	諏訪	計	百分比	
— 6	月	262	4	35	5	24	14	19	6	3	15	2	30	419	12.24	
6—12	月	124	1	13	2	7	3	6	8	1	3	—	2	170	4.97	
1—2	年	131	1	18	4	20	6	20	11	11	17	2	21	262	7.65	
2—3		71	4	12	8	12	6	47	10	2	33	—	11	216	6.31	
3—4		45	2	16	9	13	18	13	6	7	1	1	27	158	4.62	
4—5		149	7	25	13	50	9	24	6	3	15	9	12	322	9.41	
5—6		90	3	9	11	39	2	32	8	4	4	8	8	218	6.37	
6—7		86	—	29	2	25	1	24	1	—	5	4	8	185	5.40	
7—8		50	2	24	6	5	—	8	5	—	3	6	15	124	3.62	
8—9		5	6	6	1	17	—	1	3	—	—	1	—	40	1.17	
9—10		23	1	41	6	19	1	32	6	—	1	6	—	136	3.97	
10—11		84	4	32	6	34	4	13	8	—	3	3	1	192	5.61	
11—12		92	—	44	18	31	—	22	3	1	3	4	1	219	6.40	
12—13		94	4	33	11	34	5	24	3	1	2	—	2	213	6.22	
13—14		73	5	29	7	20	3	21	9	—	2	2	—	171	5.00	
14—15		38	3	38	—	15	—	8	8	—	1	2	—	113	3.30	
15—16		30	1	18	4	12	2	2	9	1	1	—	—	80	2.34	
16—17		13	1	12	8	14	—	7	3	—	—	—	1	59	1.73	
17—18		9	—	13	5	11	—	7	1	—	—	1	—	47	1.37	
18—19		7	—	7	—	6	—	5	1	—	—	—	1	27	0.79	
19—20		2	—	3	—	1	—	—	1	—	—	—	—	7	0.20	
20—21		4	—	3	1	6	—	4	1	—	—	1	—	20	0.58	
21—22		6	—	1	—	4	—	2	—	—	—	—	—	13	0.38	
22—23		2	—	1	1	2	—	—	1	—	—	—	—	7	0.20	
23—24		3	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	5	0.15	
計		1,493	49	462	128	423	74	341	118	34	109	52	140	3,423	100.00	
平均勤績年数		6.0	7.7	9.4	8.10	8.6	4.7	7.7	7.11	3.8	3.9	7.8	3.7	6.11		

第四節 飲酒者及喫煙者

(1) 體性別より観たる飲酒喫煙の有無に依る人員

體性別	飲酒者		喫煙者		飲酒及喫煙者		飲酒喫煙せざる者		計	
	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合
男	251	8.16	759	24.69	1,188	38.65	876	28.50	3,074	100.00
女	—	—	6	1.72	—	—	343	98.28	349	100.00
計	251	7.33	765	22.35	1,188	34.71	1,219	35.61	3,423	100.00

(2) 係別より観たる飲酒、喫煙の有無に依る人員

係別	飲酒者		喫煙者		飲酒及喫煙者		飲酒喫煙せざる者		計	
	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合
採鑛	58	3.89	332	22.24	626	41.93	477	31.94	1,493	100.00
買鑛	2	4.08	10	20.41	14	28.57	23	46.94	49	100.00
製銅	81	17.53	94	20.35	201	43.51	86	18.61	462	100.00
電鍊	9	7.03	34	26.56	30	23.44	55	42.97	128	100.00
工作	48	11.35	99	23.40	127	30.02	149	35.23	423	100.00
研究	5	6.76	10	13.51	9	12.16	50	67.57	74	100.00
調度	29	8.50	105	30.79	103	30.21	104	30.50	341	100.00
庶務	4	3.39	31	26.27	32	27.12	51	43.22	118	100.00
會計	—	—	1	2.94	1	2.94	32	94.12	34	100.00
醫院	—	—	2	1.83	5	4.59	102	93.58	109	100.00
林業	5	9.62	11	21.15	10	19.23	26	50.00	52	100.00
諏訪	10	7.14	36	25.71	30	21.43	64	45.72	140	100.00
計	251	7.33	765	22.35	1,188	34.71	1,219	35.61	3,423	100.00

(3) 坑内外別より観たる飲酒喫煙の有無に依る人員

坑内外別	飲酒者		喫煙者		飲酒及喫煙者		飲酒喫煙せざる者		計	
	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合
坑内	44	4.42	243	24.40	532	53.41	177	17.77	996	100.00
坑外	207	8.53	522	21.51	656	27.03	1,042	42.93	2,427	100.00
計	251	7.33	765	22.35	1,188	34.71	1,219	35.61	3,423	100.00

(4) 年齢階級別より観たる飲酒、喫煙の有無に依る人員

年齢階級別	酒		煙		草		計		計	
	飲む者	飲まざる者	飲む者	飲まざる者	飲む者	飲まざる者	實數	割合	實數	割合
10—15	—	—	52	100.00	52	100.00	—	—	52	100.00
15—20	—	—	433	100.00	433	100.00	8	1.85	425	98.15
20—25	39	10.26	341	89.74	380	100.00	141	37.10	239	62.90
25—30	145	29.41	348	70.59	493	100.00	313	63.49	180	36.51
30—35	289	52.07	266	47.93	555	100.00	384	69.19	171	30.81
35—40	398	60.58	259	39.42	657	100.00	457	69.56	200	30.44
40—45	347	66.10	178	33.90	525	100.00	402	76.57	123	23.43
45—50	165	69.32	73	30.68	238	100.00	182	76.47	56	23.53
50—55	54	63.53	31	36.47	85	100.00	63	74.11	22	25.89
55—	2	40.00	3	60.00	5	100.00	3	60.00	2	40.00
計	1,439	42.04	1,984	57.96	3,423	100.00	1,953	57.06	1,470	42.94

第三章 疾病現象

A. 全般的觀察

第一節 榮養

(1) 體性別より觀たる榮養の良否に依る人員

榮養の良否 體性別	良		中		不		計	
	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合
男	2,338	76.06	732	23.81	4	0.13	3,074	100.00
女	228	65.33	120	34.38	1	0.29	349	100.00
計	2,566	74.96	852	24.89	5	0.15	3,423	100.00

(2) 坑内外別より觀たる榮養の良否に依る人員

榮養の良否 坑内外別	良		中		不		計	
	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合
坑内	869	87.25	127	12.75	—	—	996	100.00
坑外	1,697	69.92	725	29.88	5	0.20	2,427	100.00
計	2,566	74.96	852	24.89	5	0.15	3,423	100.00

(3) 年齢階級別より觀たる榮養の良否に依る人員

榮養の良否 年齢階級別	良		中		不		計	
	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合
10—15	26	50.00	25	48.08	1	1.92	52	100.00
15—20	289	66.74	143	33.03	1	0.23	433	100.00
20—25	303	79.74	77	20.26	—	—	380	100.00
25—30	400	81.14	92	18.66	1	0.20	493	100.00
30—35	427	76.97	127	22.85	1	0.18	555	100.00
35—40	495	75.34	162	24.66	—	—	657	100.00
40—45	393	74.85	131	24.96	1	0.19	525	100.00
45—50	172	72.27	66	27.73	—	—	238	100.00
50—55	57	67.06	28	32.94	—	—	85	100.00
55—	4	80.00	1	20.00	—	—	5	100.00
計	2,566	74.96	852	24.89	5	0.15	3,423	100.00

(4) 勤続年數別より觀たる榮養の良否に依る人員

榮養の良否 勤続年數	良		中		不		計	
	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合
— 6月	324	77.33	94	22.43	1	0.24	419	100.00
6月—12月	134	78.82	36	21.18	—	—	170	100.00
1年—2年	185	70.61	75	28.63	2	0.76	262	100.00
2—3	160	73.80	55	25.74	1	0.46	216	100.00
3—4	121	76.58	37	23.42	—	—	158	100.00
4—5	258	80.12	64	19.88	—	—	322	100.00
5—6	168	77.06	50	22.94	—	—	218	100.00
6—7	149	80.54	35	18.92	1	0.54	185	100.00
7—8	95	76.61	29	23.39	—	—	124	100.00
8—9	29	72.50	11	27.50	—	—	40	100.00
9—10	102	75.00	34	25.00	—	—	136	100.00
10—11	149	77.60	43	22.40	—	—	192	100.00
11—12	159	72.60	60	27.40	—	—	219	100.00
12—13	150	70.42	63	29.58	—	—	213	100.00
13—14	115	67.25	56	32.75	—	—	171	100.00
14—15	83	73.45	30	26.55	—	—	113	100.00
15—16	52	65.00	28	35.00	—	—	80	100.00
16—17	40	67.80	19	32.20	—	—	59	100.00
17—18	32	68.09	15	31.91	—	—	47	100.00
18—19	21	77.78	6	22.22	—	—	27	100.00
19—20	7	100.00	—	—	—	—	7	100.00
20—21	15	75.00	5	25.00	—	—	20	100.00
21—22	10	76.92	3	23.08	—	—	13	100.00
22—23	4	57.14	3	42.86	—	—	7	100.00
23—	4	80.00	1	20.00	—	—	5	100.00
計	2,566	74.96	852	24.89	5	0.15	3,423	100.00

(5) 飲酒、喫煙の有無より觀たる榮養の良否に依る人員

榮養の良否 飲酒、喫煙の有無	良		中		不		計		
	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合	
酒	飲む者	1,120	77.83	319	22.17	—	—	1,439	100.00
	飲まざる者	1,446	72.88	533	26.87	5	0.25	1,984	100.00
	計	2,566	74.96	852	24.89	5	0.15	3,423	100.00
煙草	喫む者	1,502	76.91	450	23.04	1	0.05	1,953	100.00
	喫まざる者	1,064	72.38	402	27.35	4	0.27	1,470	100.00
	計	2,566	74.96	852	24.89	5	0.15	3,423	100.00

第二節 健康者ト罹病者

茲に罹病者と云ふのは、健康診断の際に、醫師の發見したる疾病保有者全部を網羅したるものにして、中には其の當時、治療を要せ

ざる者をも含み、其の數實に男720人女103人、計823人の多きに上り、此の數を罹病者數より差引きて新に、罹病者の割合を求むるときは、男44.45%、女46.42%、平均44.67%となり、下表の割合と比較するに24.04%の減少を見るのである。

(1) 體性別に依る健康者と罹病者

體性別	健康者		罹病者		計	
	實數	割合%	實數	割合%	實數	割合%
男	987	32.11	2,087	67.89	3,074	100.00
女	84	24.07	265	75.93	349	100.00
計	1,071	31.29	2,352	68.71	3,423	100.00

(2) 坑内外別に依る健康者と罹病者

坑内外別	健康者		罹病者		計	
	實數	割合%	實數	割合%	實數	割合%
坑内	272	27.31	724	72.69	996	100.00
坑外	799	32.92	1,628	67.08	2,427	100.00
計	1,071	31.29	2,352	68.71	3,423	100.00

(3) 飲酒、喫煙の有無より觀たる健康者と罹病者

飲酒、喫煙の有無	健康者		罹病者		計		
	實數	割合%	實數	割合%	實數	割合%	
酒	飲む者	454	31.55	985	68.45	1,439	100.00
	飲まざる者	617	31.10	1,367	68.90	1,984	100.00
	計	1,071	31.29	2,352	68.71	3,423	100.00
煙草	喫む者	615	31.49	1,338	68.51	1,953	100.00
	喫まざる者	456	31.02	1,014	68.98	1,470	100.00
	計	1,071	31.29	2,352	68.71	3,423	100.00

(4) 栄養の良否より觀たる健康者と罹病者

栄養の良否	健康者		罹病者		計	
	實數	割合%	實數	割合%	實數	割合%
良	801	31.22	1,765	68.78	2,566	100.00
中及不	270	31.51	587	68.49	857	100.00
計	1,071	31.29	2,352	68.71	3,423	100.00

第三節 傷病名

傷病の類別より觀たる體性別に依る傷病名別件數

傷病名	男	女	計	傷病名	男	女	計	
合計	3,261	383	3,644	器	4	1	5	
第一及傳染病 地方病	肺結核	2	-	2	視神經炎	5	3	8
	梅毒	5	1	6	眼球震盪	3	-	3
	淋病	1	-	1	眼トラホ	7	-	7
	軟性下疳	2	-	2	聴外神	497	49	546
	疥癬	16	-	16	聽管炎	58	-	58
	疥癬性瘰癧	4	-	4	歐氏管狹窄	7	-	7
	痔瘡	18	-	18	中耳炎	1	-	1
	脊椎カリエス	1	-	1	耳聾	75	3	78
					耳聾	-	1	1
					耳聾	13	6	19
第二全身病	關節炎	66	15	81	頭痛	1	1	2
	氣管炎	3	1	4	半身不遂	1	-	1
	血毒症	3	2	5	顔面神経麻痺	4	-	4
	アルコール中毒	4	5	9	心季充進痛	1	-	1
	感冒	1	-	1	脊椎	1	-	1
第三神經系及感覺	腦溢血	1,073	96	1,169	計	249	24	273
	腦神經衰弱	2	-	2	痔核	115	13	128
	腦神經衰弱	10	1	11	心臓肥大型症	3	-	3
	腦脊液	2	-	2	心臓瓣膜症	5	-	5
	眼瞼下垂	1	-	1	心臓収縮期雜音	25	2	27
	眼瞼下垂	1	-	1	血脈充進症	76	4	80
	眼瞼下垂	9	-	9	動脈硬化症	3	1	4
	眼瞼下垂	7	-	7	動脈閉鎖不全症	1	-	1
	眼瞼下垂	2	-	2	動脈収縮期雜音	13	2	15
	眼瞼下垂	97	14	111	動脈収縮期雜音	3	-	3
第四血行器の疾患	眼瞼下垂	15	1	16	貧血症	2	2	4
	眼瞼下垂	9	-	9	鼠蹊淋巴腺炎	3	-	3
	眼瞼下垂	14	-	14	計	213	20	233
	眼瞼下垂	5	-	5	鼻中隔彎曲症	68	-	68
	眼瞼下垂	9	1	10	鼻肥厚性鼻炎	21	2	23
	眼瞼下垂	1	-	1	鼻涙管狹窄症	2	-	2
	眼瞼下垂	1	-	1	鼻カタル症	1	-	1
	眼瞼下垂	8	-	8	鼻管カタル症	32	9	41
	眼瞼下垂	16	1	17	急性氣管支カタル症	10	2	12
	眼瞼下垂	140	10	150	慢性氣管支カタル症	7	-	7
第五呼吸器の疾患	眼瞼下垂	5	-	5	肋膜炎	7	1	8
	眼瞼下垂	1	-	1	肋膜炎	2	2	4
	眼瞼下垂	1	-	1	肋膜炎	1	1	2
	眼瞼下垂	40	4	44	肋膜炎	1	-	1
	眼瞼下垂				肋膜炎			

傷病の類別より観たる體性別に依る傷病名別件數 (續)

傷病名	男	女	計	傷病名	男	女	計
計	1,457	218	1,675	皮膚及皮下組織の疾患	1	-	1
第六消化器の疾患				蜂窩性織炎	5	-	5
胃腸カタル	18	2	20	急性白癩	1	-	1
腸カタル	2	2	4	疥癬	2	-	2
蛔虫症	1	-	1	頭瘡	3	-	3
盲腸炎	3	-	3	濕汗疱	23	1	24
鼠蹊ヘルニア	7	-	7	疥癬	3	-	3
齒齦炎	34	-	34	疔瘡	4	-	4
齒齦膿漏	121	-	121	頭粉疹	10	-	10
齒齦腫	11	-	11	粉疹	3	-	3
齒齦膿生	3	-	3	疥癬	1	-	1
齒齦炎	1	-	1	疥癬	1	-	1
齒齦膿腫	7	1	8	第二骨動脈運の	5	-	5
齒齦膿腫	1	-	1	關節炎	3	-	3
齒齦膿腫	1	-	1	關節水腫	1	-	1
齒齦膿腫	1	-	1	關節炎	1	-	1
第七泌尿生殖器の疾患				第一二外因死傷	43	-	43
急性腎臓炎	44	8	52	打撲	8	-	8
急性腎臓炎	-	3	3	火傷	3	-	3
急性腎臓炎	-	2	2	凍傷	1	-	1
急性腎臓炎	2	3	5	切傷	2	-	2
急性腎臓炎	2	-	2	挫傷	18	-	18
急性腎臓炎	7	-	7	骨折	7	-	7
急性腎臓炎	25	-	25	挫傷	2	-	2
急性腎臓炎	8	-	8	挫傷	2	-	2
第九				角膜炎	2	-	2
計	62	1	63				
フルンケル	5	-	5				

上表は、内務省社會局健康保險部長通牒昭和二年五月五日、保發第四九〇號、事業報告に記載すべき傷病の類別に關する件に依り、其の傷病の類別に基きて、健康診断の際に發見せられたる傷病名を、體性別に整理したるものにして、此の項以下に出づる傷病の類別と云ふは是を指したるものなのである。而して本項は單に傷病名と其の件數とを示すに止まりて、上記、傷病の類別の諸態様に就ては、後記に譲ることとしたのである。

第四節 傷病の程度

(1) 體性別より観たる傷病の程度別に依る件數

傷病の程度別 體性別	不要治療		通院治療		休業治療		入院治療		計	
	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合
男	1,494	45.81	1,671	51.24	39	1.20	57	1.75	3,261	100.00
女	185	48.30	191	49.87	4	1.05	3	0.78	383	100.00
計	1,679	46.08	1,862	51.10	43	1.81	60	1.64	3,644	100.00

(2) 坑内外別より観たる傷病の程度別に依る件數

傷病の程度別 坑内外別	不要治療		通院治療		休業治療		入院治療		計	
	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合
坑内	556	46.96	605	51.10	13	1.10	10	0.84	1,184	100.00
坑外	1,123	45.65	1,257	51.10	30	1.22	50	2.03	2,460	100.00
計	1,679	46.08	1,862	51.10	43	1.18	60	1.64	3,644	100.00

(3) 飲酒、喫煙の有無より観たる傷病の程度別に依る件數

傷病の程度別 飲酒、喫煙の有無	不要治療		通院治療		休業治療		入院治療		計	
	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合
酒 飲む者	674	42.90	840	53.47	24	1.53	33	2.10	1,571	100.00
酒 飲まざる者	1,005	48.48	1,022	49.30	19	0.92	27	1.30	2,073	100.00
酒 計	1,679	46.08	1,862	51.10	43	1.18	60	1.64	3,644	100.00
煙草 喫む者	953	44.95	1,101	51.94	31	1.46	35	1.65	2,120	100.00
煙草 喫まざる者	726	47.64	761	49.93	12	0.79	25	1.64	1,524	100.00
煙草 計	1,679	46.08	1,862	51.10	43	1.18	60	1.64	3,644	100.00

(4) 栄養の良否より観たる傷病の程度別に依る件數

傷病の程度別 栄養の良否	不要治療		通院治療		休業治療		入院治療		計	
	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合
良	1,292	47.40	1,362	49.96	26	0.95	46	1.69	2,726	100.00
中及不	387	42.16	500	54.47	17	1.85	14	1.52	918	100.00
計	1,679	46.08	1,862	51.10	43	1.18	60	1.64	3,644	100.00

(5) 傷病の類別より観たる傷病の程度別に依る件数

傷病の類別	傷病の程度別		不要治療		通院治療		休業治療		入院治療		計	
	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合
第一、流行病、地方病及傳染病	3	6.00	32	64.00	3	6.00	12	24.00	50	100.00		
第二、全身病	14	17.28	66	81.48	1	1.24	-	-	81	100.00		
第三、神経系及感覚器の疾患	415	35.50	734	62.79	15	1.28	5	0.43	1,169	100.00		
第四、血行器の疾患	153	56.04	95	34.80	2	0.73	23	8.43	273	100.00		
第五、呼吸器の疾患	173	74.25	43	18.46	11	4.72	6	2.57	233	100.00		
第六、消化器の疾患	891	53.19	773	46.15	4	0.24	7	0.42	1,675	100.00		
第七、泌尿生殖器の疾患	19	36.54	25	48.08	1	1.92	7	13.46	52	100.00		
第八、妊娠及産に因する疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
第九、皮膚及皮下組織の疾患	8	12.70	55	87.30	-	-	-	-	63	100.00		
第一〇、骨及運動器の疾患	-	-	5	100.00	-	-	-	-	5	100.00		
第一一、老衰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
第一二、外因死傷	3	6.98	34	79.07	6	13.95	-	-	43	100.00		
計	1,679	46.08	1,862	51.10	43	1.18	60	1.64	3,644	100.00		

(6) 傷病の程度別より観たる傷病の類別に依る件数

傷病の類別	傷病の程度別		不要治療		通院治療		休業治療		入院治療		計	
	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合
第一、流行病、地方病及傳染病	3	0.18	32	1.72	3	6.98	12	20.00	50	1.37		
第二、全身病	14	0.83	66	3.54	1	2.33	-	-	81	2.22		
第三、神経系及感覚器の疾患	415	24.72	734	39.42	15	34.88	5	8.33	1,169	32.08		
第四、血行器の疾患	153	9.11	95	5.10	2	4.65	23	38.33	273	7.49		
第五、呼吸器の疾患	173	10.30	43	2.31	11	25.58	6	10.00	233	6.39		
第六、消化器の疾患	891	53.07	773	41.52	4	9.30	7	11.67	1,675	45.97		
第七、泌尿生殖器の疾患	19	1.13	25	1.34	1	2.33	7	11.67	52	1.43		
第八、妊娠及産に因する疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
第九、皮膚及皮下組織の疾患	8	0.48	55	2.95	-	-	-	-	63	1.73		
第一〇、骨及運動器の疾患	-	-	5	0.27	-	-	-	-	5	0.14		
第一一、老衰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
第一二、外因死傷	3	0.18	34	1.83	6	13.95	-	-	43	1.18		
計	1,679	100.00	1,862	100.00	43	100.00	60	100.00	3,644	100.00		

第五節 一人の有する罹病件数

(1) 體性別より観たる一人の有する罹病件数別に依る人員

體性別	罹病件数別		一件のもの		二件のもの		三件のもの		四件のもの		五件のもの		計	
	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合
男	1,210	57.98	634	30.38	194	9.29	44	2.11	5	0.24	2,097	100.00		
女	171	64.53	75	28.30	14	5.28	5	1.89	-	-	265	100.00		
計	1,381	58.72	709	30.15	208	8.84	49	2.08	5	0.21	2,352	100.00		

(2) 坑内外別より観たる一人の有する罹病件数別に依る人員

坑内外別	罹病件数別		一件のもの		二件のもの		三件のもの		四件のもの		五件のもの		計	
	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合
坑内	394	54.42	218	30.11	96	13.26	14	1.93	2	0.28	724	100.00		
坑外	987	60.63	491	30.16	112	6.88	35	2.15	3	0.18	1,628	100.00		
計	1,381	58.72	709	30.15	208	8.84	49	2.08	5	0.21	2,352	100.00		

第六節 傷病率

此處に傷病率と云ふのは、右の式に依つて算出せられたるものである。

$$\frac{\text{傷病件数}}{\text{調査人員}} \times 100 = \text{傷病率}$$

I 傷病類別に依る傷病率

(1) 體性別より観たる傷病の類別に依る傷病率

傷病の類別	體性別	男	女	平均
第一、流行病、地方病及傳染病	件	1.59	0.29	1.46
第二、全身病	件	2.15	4.30	2.37
第三、神経系及感覚器の疾患	件	34.90	27.51	34.15
第四、血行器の疾患	件	8.10	6.88	7.97
第五、呼吸器の疾患	件	6.93	5.73	6.81
第六、消化器の疾患	件	47.40	62.46	48.93
第七、泌尿生殖器の疾患	件	1.43	2.29	1.52
第八、妊娠及産に因する疾患	件	-	-	-
第九、皮膚及皮下組織の疾患	件	2.02	0.28	1.84
第一〇、骨及運動器の疾患	件	0.16	-	0.15
第一一、老衰	件	-	-	-
第一二、外因死傷	件	1.40	-	1.26
計	件	106.08	109.74	106.46

(2) 坑内外別より観たる傷病の類別に依る傷病率

傷病の類別	坑内外別		平均
	坑内	坑外	
第一、流行病、地方病及傳染病	1.61	1.40	1.46
第二、全身病	2.61	2.27	2.37
第三、神経系及感覺器の疾患	39.86	31.81	34.15
第四、血行器の疾患	9.24	7.46	7.97
第五、呼吸器の疾患	6.42	6.96	6.81
第六、消化器の疾患	54.02	46.85	48.93
第七、泌尿生殖器の疾患	1.10	1.69	1.52
第八、妊娠及産に因する疾患	-	-	-
第九、皮膚及皮下組織の疾患	2.01	1.77	1.84
第一〇、骨及運動器の疾患	0.20	0.12	0.15
第一一、老衰	-	-	-
第一二、外因死傷	1.81	1.03	1.26
計	118.88	101.36	106.46

(4) 勤続年數別より観たる

傷病の類別	勤続年數別									
	月-6	月6-12	年1-2	2-3	3-4	4-5	5-6	6-7	7-8	8-9
第一、流行病、地方病及傳染病	0.48	1.76	1.53	1.39	3.17	0.62	2.29	1.62	0.81	-
第二、全身病	1.91	2.94	6.11	1.85	2.53	2.80	2.29	4.87	1.61	-
第三、神経系及感覺器の疾患	22.91	28.82	33.21	29.17	32.28	37.27	33.03	38.38	35.49	47.50
第四、血行器の疾患	2.39	5.30	4.96	6.02	7.59	5.59	11.93	7.03	7.26	10.00
第五、呼吸器の疾患	5.01	7.65	7.25	6.94	7.59	6.21	7.80	8.11	6.45	5.00
第六、消化器の疾患	58.00	43.53	45.42	53.24	51.90	55.90	43.58	50.27	43.55	50.00
第七、泌尿生殖器の疾患	0.95	0.59	1.14	1.85	2.53	1.55	3.21	2.70	1.61	-
第八、妊娠及産に因する疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
第九、皮膚及皮下組織の疾患	2.39	1.76	1.53	0.46	1.91	2.17	1.37	2.16	1.61	-
第一〇、骨及運動器の疾患	-	-	-	-	0.63	0.93	-	-	-	-
第一一、老衰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
第一二、外因死傷	0.71	1.18	0.76	1.39	0.63	2.49	0.92	0.54	2.42	5.00
計	94.75	93.53	101.91	102.31	110.76	115.53	106.42	115.68	100.81	117.50

(3) 年齢階級別より観たる傷病の類別に依る傷病率

傷病の類別	年齢階級別										平均
	10-15	15-20	20-25	25-30	30-35	35-40	40-45	45-50	50-55	55-	
第一、流行病、地方病及傳染病	-	0.23	0.79	1.22	1.98	2.59	1.33	1.26	2.35	-	1.46
第二、全身病	-	4.85	3.68	2.84	1.26	2.13	0.95	2.52	-	-	2.37
第三、神経系及感覺器の疾患	19.23	32.10	25.27	30.22	32.43	35.46	40.38	46.22	43.53	60.00	34.15
第四、血行器の疾患	-	4.85	3.68	5.27	6.31	8.37	10.29	20.17	22.35	20.00	7.97
第五、呼吸器の疾患	5.77	6.70	6.58	5.69	8.11	7.31	7.43	4.62	5.88	-	6.81
第六、消化器の疾患	48.08	48.04	48.42	49.90	48.65	47.34	48.95	55.04	49.41	20.00	48.93
第七、泌尿生殖器の疾患	1.92	1.15	0.53	0.80	1.98	1.52	1.91	2.10	4.71	-	1.52
第八、妊娠及産に因する疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
第九、皮膚及皮下組織の疾患	-	0.70	2.10	2.64	2.16	2.44	1.33	1.26	1.18	-	1.84
第一〇、骨及運動器の疾患	-	0.23	0.53	-	-	0.30	-	-	-	-	0.15
第一一、老衰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
第一二、外因死傷	1.92	0.23	1.05	1.22	1.08	1.22	1.72	1.68	4.71	-	1.26
計	76.92	99.08	92.63	99.80	103.96	108.68	114.29	134.87	134.12	100.00	106.46

傷病の類別に依る傷病率

傷病の類別	年齢階級別														平均	
	9-10	10-11	11-12	12-13	13-14	14-15	15-16	16-17	17-18	18-19	19-20	20-21	21-22	22-23		23-
第一、流行病、地方病及傳染病	2.21	2.08	1.83	0.94	2.34	1.77	-	1.74	4.25	-	-	-	-	-	-	1.46
第二、全身病	0.73	1.56	2.28	1.41	1.17	2.66	1.25	-	-	-	-	-	7.69	-	-	2.37
第三、神経系及感覺器の疾患	38.24	39.58	40.64	40.37	36.84	38.94	43.75	25.42	29.79	37.04	42.86	15.00	46.16	-	20.00	34.15
第四、血行器の疾患	12.50	11.98	10.50	11.27	11.70	12.39	11.25	6.74	10.64	3.70	14.28	20.00	-	-	20.00	7.97
第五、呼吸器の疾患	8.09	5.74	8.68	6.57	4.09	7.08	3.75	10.17	12.76	14.82	-	-	15.38	-	-	6.81
第六、消化器の疾患	42.65	44.27	42.01	49.76	46.78	38.05	58.75	55.93	31.91	37.04	28.57	60.00	84.62	57.14	40.00	48.93
第七、泌尿生殖器の疾患	2.94	2.08	0.45	2.35	-	0.88	1.25	-	2.13	-	-	-	-	-	-	1.52
第八、妊娠及産に因する疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
第九、皮膚及皮下組織の疾患	1.47	1.04	2.28	1.41	1.17	3.54	6.25	-	2.13	3.70	-	-	-	-	20.00	1.84
第一〇、骨及運動器の疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	2.13	-	-	-	-	-	-	0.15
第一一、老衰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
第一二、外因死傷	0.73	-	1.83	2.35	1.17	-	1.25	3.39	-	-	-	5.00	-	-	-	1.26
計	109.56	108.33	110.50	116.43	105.26	105.31	127.50	103.39	95.74	96.30	85.71	100.00	153.85	57.14	100.00	106.46

(5) 飲酒、喫煙の有無より観たる傷病の類別に依る傷病率

傷病の類別	酒			煙草		
	飲む者	飲まざる者	平均	喫む者	喫まざる者	平均
第一、流行病地方病及傳染病	1.81	1.21	1.46	1.54	1.36	1.46
第二、全身病	2.08	2.57	2.37	1.94	2.93	2.37
第三、神経系及感覺器の疾患	37.31	31.85	34.15	37.07	30.27	34.15
第四、血行器の疾患	9.45	6.92	7.97	8.40	7.41	7.97
第五、呼吸器の疾患	6.39	7.11	6.81	6.35	7.41	6.81
第六、消化器の疾患	46.77	50.50	48.93	47.93	50.27	48.93
第七、泌尿生殖器の疾患	1.46	1.56	1.52	1.54	1.50	1.52
第八、妊娠及産に因する疾患	-	-	-	-	-	-
第九、皮膚及皮下組織の疾患	2.22	1.56	1.84	2.10	1.50	1.84
第一〇、骨及運動器の疾患	0.15	0.15	0.15	0.10	0.20	0.15
第一一、老衰	-	-	-	-	-	-
第一二、外因死傷	1.53	1.06	1.26	1.58	0.82	1.26
計	109.17	104.49	106.46	108.55	103.67	106.46

(6) 栄養の良否より観たる傷病の類別に依る傷病率

傷病の類別	栄養の良否		
	良	中及不	平均
第一、流行病地方病及傳染病	1.52	1.28	1.46
第二、全身病	2.22	2.80	2.37
第三、神経系及感覺器の疾患	33.67	35.59	34.15
第四、血行器の疾患	8.34	6.89	7.97
第五、呼吸器の疾患	6.08	8.98	6.81
第六、消化器の疾患	49.65	46.79	48.93
第七、泌尿生殖器の疾患	1.44	1.75	1.52
第八、妊娠及産に因する疾患	-	-	-
第九、皮膚及皮下組織の疾患	1.83	1.87	1.84
第一〇、骨及運動器の疾患	0.16	0.12	0.15
第一一、老衰	-	-	-
第一二、外因死傷	1.33	1.05	1.26
計	106.04	107.12	106.46

II 年齢階級別に依る傷病率

(1) 體性別より観たる年齢階級別に依る傷病率

年齢階級別 體性別	10-15	15-20	20-25	25-30	30-35	35-40	40-45	45-50	50-55	55-	平均
男	59.38	98.54	93.69	98.05	102.43	107.73	114.01	131.67	135.00	125.00	106.08
女	105.00	100.00	87.30	125.81	145.00	134.78	127.27	176.47	120.00	-	109.74
平均	76.92	99.08	92.63	99.80	103.96	108.68	114.29	134.87	134.12	100.00	106.46

(2) 坑内外別より観たる年齢階級別に依る傷病率

年齢階級別 坑内外別	10-15	15-20	20-25	25-30	30-35	35-40	40-45	45-50	50-55	55-	平均
坑内	-	112.24	94.40	108.94	113.50	125.24	128.17	157.57	160.00	-	118.88
坑外	76.92	97.40	91.76	94.59	98.59	100.89	109.14	126.16	123.33	100.00	101.36
平均	76.92	99.08	92.63	99.80	103.96	108.68	114.29	134.87	134.12	100.00	106.46

(3) 栄養の良否より観たる年齢階級別に依る傷病率

年齢階級別 栄養の良否	10-15	15-20	20-25	25-30	30-35	35-40	40-45	45-50	50-55	55-	平均
良	84.62	96.89	95.05	96.75	100.47	107.88	116.03	135.46	163.16	100.00	106.24
中及不	69.23	103.47	83.12	112.91	116.54	111.11	109.09	133.33	75.00	100.00	107.12
平均	76.92	99.08	92.63	99.80	103.96	108.68	114.29	134.87	134.12	100.00	106.46

(4) 飲酒、喫煙の有無より観たる年齢階級別に依る傷病率

年齢階級別 飲酒、喫煙の有無	10-15	15-20	20-25	25-30	30-35	35-40	40-45	45-50	50-55	55-	平均
酒	飲む者	-	-	110.26	88.28	98.27	106.53	114.70	130.30	142.59	109.17
	飲まざる者	76.92	99.08	90.62	104.60	110.15	111.97	113.48	145.21	119.35	104.49
	平均	76.92	99.08	92.63	99.80	103.96	108.68	114.29	134.87	134.12	106.46
煙草	喫む者	-	137.50	82.69	95.85	103.13	107.44	118.16	134.62	128.57	108.55
	喫まざる者	76.92	98.35	97.91	106.67	105.85	111.50	101.63	135.71	150.00	103.67
	平均	76.92	99.08	92.63	99.80	103.96	108.68	114.29	134.87	134.12	106.46

III 勤 績 階 級 別 に

(1) 體性別より観たる勤績

體性別	級年數別	1-6	6-12	1-2	2-3	3-4	4-5	5-6	6-7	7-8	8-9	9-10	10-11
男	件	96.00	92.05	98.52	101.91	111.03	115.22	104.62	119.05	96.40	114.29	109.77	104.89
女	件	88.41	105.26	113.56	103.39	109.09	118.18	121.74	82.35	138.46	140.00	100.00	187.50
平均	件	94.75	93.53	101.91	102.31	110.76	115.53	106.42	115.68	100.81	117.50	109.56	108.33

(2) 坑内外別より観たる勤績

坑内に於ては1年未滿109.17件、1年以上5年未滿113.58件、5年以上10年未滿114.29件、10年以上15年未滿132.68件、15年以上131.67件、平均118.88件であり、坑外に於ては1年未滿85.44件、1年以上5年未滿105.92件、5年以上10年未滿107.10件、10年以上15年未滿100.77件、15年以上102.44

B 局 部 的 観 察

第七節 脊 柱

(1) 體性別より観たる脊柱の正彎に依る人員

體性別	正		彎		計	
	實 數	割 合	實 數	割 合	實 數	割 合
男	3,024	98.37%	50	1.63%	3,074	100.00%
女	346	99.14%	3	0.86%	349	100.00%
計	3,370	98.45%	53	1.55%	3,423	100.00%

(2) 坑内外別より観たる脊柱の正彎に依る人員

坑内外別	正		彎		計	
	實 數	割 合	實 數	割 合	實 數	割 合
坑内	975	97.89%	21	2.11%	996	100.00%
坑外	2,395	98.68%	32	1.32%	2,427	100.00%
計	3,370	98.45%	53	1.55%	3,423	100.00%

依 る 傷 病 率

年數別に依る傷病率

11-12	12-13	13-14	14-15	15-16	16-17	17-18	18-19	19-20	20-21	21-22	22-23	23-	平均
109.35	116.50	105.29	103.60	128.57	101.72	95.74	96.30	85.71	100.00	153.85	57.14	100.00	106.08
160.00	114.29	100.00	200.00	100.00	200.00	-	-	-	-	-	-	-	109.74
110.50	116.43	105.26	105.31	127.50	103.39	95.74	96.30	85.71	100.00	153.85	57.14	100.00	106.46

年數別に依る傷病率

件、平均101.36件である。

之を要するに、一般に坑内は坑外より傷病率高く、特に坑内に於て10年以上となりて俄に傷病率の高くなるのを見る。

第八節 視 力

(1) 裸眼視力相關表

左眼視力 右眼視力	0.1未滿	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.5	2.0	計
0.1未滿	6	2	-	1	1	-	1	2	3	1	6	4	3	-	30
0.1	1	38	13	6	1	2	3	-	2	4	6	3	-	-	79
0.2	2	7	18	5	5	4	3	1	1	1	6	7	-	-	60
0.3	-	4	8	14	3	6	1	4	2	1	3	4	1	-	51
0.4	2	2	3	7	15	5	3	7	6	1	6	6	-	-	63
0.5	2	2	1	-	7	18	12	4	5	1	7	7	3	-	69
0.6	1	3	1	3	5	7	14	5	6	5	6	10	1	-	67
0.7	-	1	3	1	3	7	9	9	8	8	12	6	-	1	68
0.8	1	2	-	-	3	7	7	12	22	17	23	10	2	-	106
0.9	3	3	1	-	-	4	6	6	13	25	38	21	1	-	121
1.0	5	4	3	5	7	8	19	12	29	30	346	204	16	-	688
1.2	4	8	4	3	2	6	9	7	13	22	165	1,019	156	-	1,418
1.5	3	1	2	1	-	-	1	-	2	3	16	140	408	9	586
2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	5	17
計	30	77	57	46	52	74	88	69	112	119	640	1,441	603	15	3,423

(2) 裸眼、矯正視力相關表

矯正視力	右眼										左眼												
	0.1未満	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	計	0.1未満	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	計	
0.1未満	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
0.1	-	34	-	-	-	-	-	-	-	-	34	-	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34
0.2	1	2	28	-	-	-	-	-	-	-	31	-	3	24	-	-	-	-	-	-	-	-	27
0.3	1	1	-	23	-	-	-	-	-	-	25	-	2	-	19	-	-	-	-	-	-	-	21
0.4	1	3	-	-	27	-	-	-	-	-	31	-	5	2	-	21	-	-	-	-	-	-	28
0.5	-	3	3	1	-	35	-	-	-	-	42	-	1	-	1	-	33	-	-	-	-	-	35
0.6	1	4	3	2	2	2	40	-	-	-	54	2	5	2	1	2	-	40	-	-	-	-	52
0.7	-	4	2	3	3	-	2	42	-	-	56	-	-	3	2	5	2	1	36	-	-	-	49
0.8	1	3	3	2	3	5	4	-	68	-	89	-	5	4	3	4	9	4	1	68	-	98	
0.9	1	5	1	6	5	5	2	2	-	96	123	1	6	1	1	2	5	8	1	1	96	122	
1.0	3	16	12	7	11	8	14	16	26	19	132	1	7	10	7	10	17	25	19	35	11	142	
1.2	-	4	8	7	12	14	5	8	12	6	76	1	9	11	12	8	8	10	12	8	12	91	
計	30	79	60	51	63	69	67	68	106	121	714	30	77	57	46	52	74	88	69	112	119	724	

(3) 裸眼視力0.9以下の原因調

原因別	右眼										左眼											
	0.1未満	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	計	0.1未満	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	計
近視	6	32	26	20	25	26	21	26	44	59	285	4	24	25	19	17	26	31	25	42	65	278
遠視	-	5	3	6	6	7	11	12	10	16	76	1	4	5	5	11	14	14	10	16	11	71
亂視	1	7	11	2	6	1	2	4	7	-	41	-	6	5	4	5	7	8	5	6	1	47
弱視	-	-	-	1	3	1	6	2	1	-	14	-	1	1	1	1	3	2	3	-	-	12
斜視	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	6
近視性亂視	2	1	2	-	1	2	1	2	1	3	15	-	4	1	-	1	-	3	2	1	1	13
遠視性亂視	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	2	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	3
失明	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
疾病に因るもの	17	34	18	21	21	32	26	22	42	43	276	18	35	20	16	17	24	30	23	47	41	271
計	30	79	60	51	63	69	67	68	106	121	714	30	77	57	46	52	74	88	69	112	119	724

(4) 矯正不能及矯正視力0.5以下の原因調

原因別	右眼							左眼						
	0.1未満	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	計	0.1未満	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	計
不正亂視	1	7	11	2	2	-	23	1	5	5	3	3	5	22
斜視	1	-	-	-	1	-	2	3	3	-	-	-	-	6
弱視	-	-	-	1	2	1	4	-	1	1	1	1	3	7
近視性亂視	2	-	1	-	-	2	5	-	1	-	-	-	-	1
失明	3	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	3
視神経炎	-	-	1	2	1	3	7	-	3	1	2	1	1	8
視神経萎縮	1	3	2	-	-	-	6	-	1	2	-	1	1	5
角膜膜炎	1	2	1	1	3	2	10	1	-	2	1	1	1	6
角膜實質炎	-	3	-	1	-	-	4	-	1	-	-	-	1	2
角膜混濁	1	3	2	5	4	6	21	6	1	3	2	5	3	20
角膜翳	5	14	10	8	8	12	57	5	17	8	5	4	13	52
網膜炎	2	2	-	1	2	-	7	2	2	1	1	-	-	6
結膜炎	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1
涙管炎	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	1
虹彩	1	1	2	-	-	-	4	-	3	1	-	-	1	5
白内障	2	1	-	1	1	2	7	2	1	1	2	1	1	8
緑内障	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2
眼球震盪症	2	1	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	1
トラホーム	-	5	1	2	2	7	17	1	5	1	3	3	3	16
計	24	43	31	24	27	35	184	25	45	26	20	21	33	170

第九節 色 神

(1) 體性別に依る色神減弱率

體性別	色 神		計
	色 盲	色 弱	
男	% 4.16	% 1.27	% 5.43
女	-	-	-
平均	3.74	1.14	4.88

(2) 係別に依る色神減弱率

係別	色神	色盲	色弱	計
探買	鍍	2.61	0.67	3.28
製	鍍	12.24	-	12.24
電	銅	5.63	1.51	7.14
工	鍍	5.47	1.56	7.03
	作	4.73	2.36	7.09
研	究	9.46	4.05	13.51
調	査	3.52	2.05	5.57
庶	務	5.93	-	5.93
合	計	-	-	-
醫	院	0.92	-	0.92
林	業	1.92	-	1.92
廠	防	1.43	-	1.43
平	均	3.74	1.14	4.88

(3) 坑内外別に依る色神減弱率

坑内外別	色神	色盲	色弱	計
坑内		2.71	0.40	3.11
坑外		4.16	1.44	5.60
平均		3.74	1.14	4.88

第十節 トラホーム

(1) 體性別より觀たる年齢階級別に依るトラホーム罹患率

體性別	年齢階級別	10-15	15-20	20-25	25-30	30-35	35-40	40-45	45-50	50-55	55-	平均
男		9.38	20.36	15.46	18.18	16.26	16.56	13.23	14.48	15.00	25.00	16.17
女		20.00	16.46	1.59	12.90	20.00	13.04	36.36	17.65	-	-	14.04
平均		13.46	18.94	13.16	17.85	16.40	16.44	13.52	15.13	14.12	20.00	15.95

(2) 坑内外別より觀たる年齢階級別に依るトラホーム罹患率

坑内外別	年齢階級別	10-15	15-20	20-25	25-30	30-35	35-40	40-45	45-50	50-55	55-	平均
坑内		-	22.45	17.60	19.55	21.50	22.86	16.20	24.24	20.00	-	20.38
坑外		13.46	18.49	10.98	16.88	13.52	13.42	12.53	11.63	11.67	20.00	14.13
平均		13.46	18.94	13.16	17.85	16.40	16.44	13.52	15.13	14.12	20.00	15.95

第十一節 齲齒

(1) 體性別より觀たる年齢階級別に依る齲齒罹患率

體性別	年齢階級別	10-15	15-20	20-25	25-30	30-35	35-40	40-45	45-50	50-55	55-	平均
男		37.50	37.09	41.01	41.34	41.68	39.43	40.86	42.53	42.50	25.00	40.57
女		55.00	55.06	53.97	77.42	80.00	73.91	72.73	70.59	80.00	-	61.03
平均		44.23	43.65	43.16	43.61	43.06	40.64	41.52	44.54	44.71	20.00	42.65

(2) 坑内外別より觀たる年齢階級別に依る齲齒罹患率

坑内外別	年齢階級別	10-15	15-20	20-25	25-30	30-35	35-40	40-45	45-50	50-55	55-	平均
坑内		-	46.94	42.40	43.02	45.50	49.05	43.66	56.06	60.00	-	46.29
坑外		44.23	43.23	43.53	43.95	41.68	36.69	40.73	40.12	38.33	20.00	41.16
平均		44.23	43.65	43.16	43.61	43.06	40.64	41.52	44.54	44.71	20.00	42.65

第十二節 缺齒

(1) 體性別に依る缺齒本數別の人員及缺齒率

體性別	缺齒本數別及率	缺齒本數										計	缺齒率
		1本のもの	2本のもの	3本のもの	4本のもの	5本のもの	6本のもの	7本のもの	8本のもの	9本のもの	10本以上のもの		
男		389	269	175	109	59	44	26	21	16	53	1,161	37.77
女		40	23	11	9	3	3	-	3	2	3	97	27.79
計		429	292	186	118	62	47	26	24	18	56	1,258	36.75